

都市再生整備計画 事後評価シート
下古沢・上古沢周辺地区

平成24年3月

神奈川県 厚木市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県	市町村名	厚木市	地区名	下古沢・上古沢周辺地区			面積	650ha
交付期間	平成19年度～23年度	事後評価実施時期	平成23年度	交付対象事業費	3,695百万円	国費率	0.393		

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業	提案事業	道路(森の上古沢線、赤坂津古久環状線、旗谷上古沢線、市道J-394号線、市道J-427号線、市道F-462号線外、市道四辻上古沢線、市道小野森の里幹線、市道愛名森の里線、市道愛甲高坪線、市道長谷愛名幹線(修繕)、市道辻戸室線、市道長谷愛名幹線)、公園(上古沢緑地)、河川(準用河川恩曾川)、地域生活基盤施設((仮称)梅見里緑地)、高次都市施設(厚木市立愛名老人憩の家)						
	当初計画から削除した事業		事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	基幹事業	提案事業	道路(厚木環状3号線、赤坂竹ノ内線、市道J-396号線、市道J-392号線、市道J-391号線、上古沢緑地北側線、市道四辻上古沢線)	長期期間にわたる調査等が必要となることから事業実施を延期交付期間内での完了が見込めないことから、関連事業へ移行～厚木環状3号線と重複しており、工程的に期間内整備が見込めないため 平成19年度より「市道」-644号線に名称を変更現地調査の結果、整備の必要がなくなったため			～快適な住環境と住民生活の安全性の向上を図る上で、指標に関連するが、数値目標への影響は少ないと考えられる。影響なし。		
	新たに追加した事業	基幹事業	提案事業	道路(市道森の里環状線外、市道J-644号線、市道辻戸室線(修繕))、高次都市施設((仮称)下古沢地域交流センター)	平成18年度より「下水道管布設事業」に名称を変更計画の見直しを行った結果、都市再生整備計画期間中に整備を行わないため 事業の精査を行った結果、経常的な維持管理費を大幅に上回る収益が予想されるため、事業の位置付けを関連事業へ移行			影響なし。 快適な住環境と住民生活の安全性の向上を図る上で、指標に関連するが、数値目標への影響は少ないと考えられる。	
交付期間の変更		当初変更	平成19年度～23年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響					

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	みどりのまつり来訪者	人	45,000	H18	50,000	H23	32,000	43,000	あり	あり	道路整備事業により、会場へのアクセス性が向上したことで、減少傾向であった来訪者が増加へ転じた。
指標2	上古沢方面のバス路線本数	本/日	23	H18	30	H23	23	23	あり	なし	道路整備事業による道路アクセスの向上と新設斎場の整備により、バス利用の需要増を想定していたが、バス事業者との調整が必要のため、現状では本数は増えていない。	平成24年4月
指標3	生活環境に対する意識	%	15	H17	20	H23	20	21	あり	なし	道路整備事業や河川改修、地域交流施設整備等により、生活環境が良くなったと感じる人が増えた。	平成25年8月

3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1												

4) 定性的な効果発現状況

- 森の上古沢線の歩道整備により、厚木西高校に通学する生徒の安全性が確保された。
- 整備を行った地域交流施設(厚木市愛名老人憩の家)は、高齢者の生きがいづくり、健康づくりなどの活動や子育て世代の活動など、誰でもいつでも集いやすい施設として利用され、地域住民の相互交流が図られた。
- 地区内の中学校では、地域と学校の結びつきを深めるため、保護者だけでなく地域の方が授業や部活動の様子を自由に見学できる「学校へ行こう週間」を毎年秋に実施している。エレベータの設置により、地域の方々に来校された際、高齢者をはじめ誰もが校内を円滑に移動できるようになった。
- 森の里中学校のエレベータの設置により、吹奏楽部の重たい楽器を校舎の上階から容易に運び出すことが可能となり、地域の祭り行事への参加促進が図られた。

5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等
	モニタリング	住民参加プロセス	モニタリング	住民参加プロセス	
	事後評価の方法に準じたモニタリング	上古沢緑地のツツジ植栽イベント(上古沢緑地ツツジ植栽実行委員会) 上古沢緑地に湧いている清水を貯める施設を設置し、魚の復活などの清水を利用した事業の検討 安心・安全のまちづくりを一環とした防犯活動の実施(防犯パトロールの実施、民間監視所の設置)	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	定期的に指標の測定を行い、事業の効果を確認する。
					ツツジ盛花時期に合わせた鑑賞イベントなどツツジを活かしたイベントを継続して実施している。 清水を貯める施設をどのように活用するか今後検討する必要がある。 今後も防犯意識を更に高めていき、地域が一体となった安心・安全のまちづくりを図っていく。
					ツツジ盛花時期に合わせた鑑賞イベントなどツツジを活かしたイベントを継続して実施している。 今後も防犯意識を更に高めていき、地域が一体となった安心・安全のまちづくりを図っていく。

様式2-2 地区の概要

下古沢・上古沢周辺地区(神奈川県厚木市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 豊かな自然にふれあい、生涯を通じて、安らぎ、憩える快適生活のまちづくり 目標1 緑・水などの自然環境の保全を考慮した市民が安らぎ、憩えるまちづくりを図る 目標2 快適な住環境と住民生活の安全性と利便性の向上を図る		みどりのまつり来訪者	単位:人	45,000	H18	50,000	H23	43,000	H23
		上古沢方面のバス路線本数	単位:本/日	23	H18	30	H23	23	H23
		生活環境に対する意識	単位:%	15	H17	20	H23	21	H23
提案事業 地域創造支援事業 森の里中エレベータ整備事業		基幹事業 道路事業 市道森の里環状線外		基幹事業 公園事業 上古沢緑地		基幹事業 道路事業 市道J-644号線			
提案事業 地域創造支援事業 玉川中エレベータ整備事業		基幹事業 道路事業 市道小野森の里幹線		基幹事業 公園事業 上古沢緑地		基幹事業 道路事業 森の里上古沢線			
関連事業 赤坂竹ノ内線		基幹事業 地域生活基盤施設事業 (仮称)梅見里緑地		関連事業 みどりのまつり開催事業		基幹事業 道路事業 市道四辻上古沢線			
基幹事業 道路事業 赤坂津古久環状線		関連事業 (仮称)梅見里セレモニー施設整備事業		基幹事業 道路事業 市道愛名森の里線		基幹事業 道路事業 旗谷上古沢線			
基幹事業 道路事業 市道長谷愛名幹線(修繕)		基幹事業 道路事業 市道長谷愛名幹線		基幹事業 道路事業 市道辻戸室線		基幹事業 高次都市施設 (仮称)下古沢地域交流センター			
基幹事業 道路事業 市道長谷愛名幹線		基幹事業 道路事業 市道F-462号線外		基幹事業 道路事業 市道辻戸室線(修繕)		基幹事業 道路事業 市道J-394号線			
提案事業 地域創造支援事業 毛利台小単独給食調理場整備事業		基幹事業 道路事業 市道愛中高坪線		基幹事業 高次都市施設 厚木市立愛名老人憩の家		基幹事業 道路事業 市道J-427号線		提案事業 地域創造支援事業 小站中エレベータ整備事業	
基幹事業 道路事業 市道愛中高坪線		基幹事業 河川事業 準用河川恩曾川		提案事業 地域創造支援事業 下水道管布設事業					
まちの課題の変化		<ul style="list-style-type: none"> 歩道整備や街路灯の設置、道路舗装の打替えなどの道路整備により、安心安全な道路空間の創出や、生活道路の整備により、快適な住環境の提供が図られた。 上古沢緑地における駐車場整備や、(仮称)梅見里緑地における散策路整備、準用河川恩曾川の河川改修により、自然環境とふれあい、市民が安らぎ、憩える場の提供ができた。 「厚木市立愛名老人の家」や「(仮称)地域交流センター」の整備により、地域活動や地域住民が交流する場の提供ができた。また、校内の円滑な移動を助けるエレベータ設置により、様々な校内行事を通じた交流を促進することができた。 事業用地の取得が進まず整備が進まない区間の存在や、上古沢緑地におけるトイレ・誘導灯の未整備、更なる交流促進のため学校における行事開催の実施が課題として残された。 上古沢緑地に新たに整備した駐車場の利用促進や、(仮称)梅見里緑地及び給食調理場の維持管理の検討といった新たな課題が生じている。 							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)		<ul style="list-style-type: none"> 道路の定期的な点検と必要に応じた修繕や、(仮称)梅見里緑地の市民参加による管理体制づくり、「厚木市立愛名老人憩の家」や「(仮称)下古沢地域交流センター」の定期的な清掃および利用者のマナーの向上、給食調理場の点検など、適切な維持管理を進める。 準用河川恩曾川の生態系に配慮した整備により自然環境の保全を図った箇所について、環境学習等への活用を検討する。 事業用地の確保により事業の早期完了を目指す。 上古沢緑地については、北側駐車場におけるトイレや誘導灯の整備や利用案内に力を入れ、「日本一のつつじの丘」をコンセプトに来訪者の増加を目指す。 地域への学校開放については、生徒の安全面に配慮しながら、学校との協力により、地域との交流を図る学校行事の更なる開催に取組む。 							